

(様式3)

事業所名 グループホーム 山王台

## 目標達成計画

作成日: 平成27年3月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有について、事業所内に掲示し、随時説明を行っているが、職員の退職や異動等で、顔ぶれが替わることもあり、必ずしも全職員と共有されていると言いきれないのが現状である。	全職員が同じ方向性を持って入居者に向き合えるように理念を再構築する。	1)4月に異動してくる職員や新規採用職員を含め、全職員と法人の理念について話し合い、それぞれが理念に対しどのように捉えているか、実践されているかを確認する。 2)グループホームの理念について、同じく話し合いをして確認する。 3)入居者の現状と職員の関わり方、考え方を話し合い、自分たちの言葉で理念をつくる。	3ヶ月
2	19	生活上の問題もあるが、入居してしまうとなかなか面会に来られない家族が半分程度はいる。	入居しても介護に関わる気持ちを持ち続けられるように、家族としての役割を理解していただく。	1)状態が落ち着いている入居者も、月に2度以上、家族に状況報告を行う。 2)介護計画作成時には出来る限り参加して頂くよう、日程に余裕を持って調整し、働きかける。 3)家族昼食会など、家族と一緒に出来るイベントや行事を増やし、グループホームに足を運んで頂く。	12ヶ月
3	26	介護計画はモニタリングを通して、入居者の現状に即したものをつくる努力をしているが、体調や精神状態が落ち着いてきている入居者については現状維持の計画で過ごしてしまうことがある。また、作成時、家族の参加が少なく、説明して了解を得るに留まっている。	更新時の介護計画も家族に参加して頂き、入居者の実情に添い、家族の希望も取り入れたものにしていく。	1)更新時、モニタリングに加え、入居者の現在の状態を丁寧にアセスメントする。 2)介護計画作成時には出来る限り参加して頂くよう、日程に余裕を持って調整し、働きかける 3)家族がケアに対する希望や意見を話しやすいように、日頃から状態を伝えたり、面会を促す。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。